

## 平成24年度「学ぶ土台づくり」圏域別ワークショップ開催状況について

## 「学ぶ土台づくり」圏域別ワークショップについて

## 1 目的

「学ぶ土台づくり」推進計画に基づいて幼児教育の円滑な推進が図られるよう、主に幼児教育の「現場」の関係者が情報を共有し、相互理解を深めながら、「親子間の愛着形成の促進」、「基本的生活習慣の確立」「豊かな体験活動による学びの促進」をテーマに課題の共有化を図り、解決すべき課題や連携の在り方を探るために開催する。

## 2 実施

平成24年度については、実施圏域を3圏域（仙台、大河原、北部）に絞って重点的に開催。  
1～2回の開催とする。

## 3 参加者

教育現場（幼稚園、保育所、小学校）、家庭（幼児、小学校の保護者）、地域社会（NPO、企業、子育てサポーターリーダー）、行政（市町村児童福祉、母子保健担当、市町村教育委員会、幼児教育、家庭教育担当）の関係者

## □ 開催状況 □

## ◆ 仙台圏域 ◆

- (1) 日 時：第1回 平成24年 8月23日（木）午後2時～午後4時  
第2回 平成24年12月11日（火）午後2時～午後4時  
(2) 会 場：まほろばホール（大和町） 大会議室  
(3) 参加者：27名 ≪参集範囲：黒川郡（3町1村）≫  
(4) アドバイザー：坂内玲子氏（富谷町立富谷中学校長）

## 第1回「基本的生活習慣の確立について」

## 現状と課題

- ・親の子育てに対する意識が低下している。
- ・家庭環境によって基本的生活習慣の違いが出ている。
- ・親の生活リズムに引きずられ「早寝・早起き・朝ごはん」ができていない。

## 解決策

- ・三世代同居のよさや父親の協力の大切さを伝えていく。
- ・保護者向けの勉強会の実施や啓発。「ノーテレビ、ノーゲームデー」の実施。
- ・頑張っている父親や母親への励まし。
- ・親になる前の教育の実施。

## アドバイザーからの指導助言

- ・親に何かをしようとする時、親の話を聞くこと、子どもができなかったことができるようになったことに対して親を褒めることが大切であり、親への小さな支援の積み重ねが日々の中で大切。
- ・親の心に火を付けるアクションやしかけを皆で考えていくことが大事。



## 第2回「親子間の愛着形成の促進について」

## 現状と課題

- ・親の言うとおりに育てたいと思っている親と、思うとおりに育ててくれないと悩む親と両極端。
- ・どのように抱っこしたらよいか分からない、どう愛情表現をしたらよいか分からない親がいる。
- ・父親の参加が増えているが、以前より増えているのであり、まだ望ましい状況ではない。

## 解決策

- ・褒め方が分からない親に対して、褒め方の一言集のようなものがあるとよい。
- ・幼稚園や保育所では「物事を肯定的に見るように」小学校でも「肯定的な言い方をしてあげる」と親もうれしい。
- ・地域での子育ての必要性を理解してもらい、地域の方々に手伝ってもらおうようにする。

## アドバイザーからの指導助言

- ・愛着形成では、一人ひとりのコミュニケーションが大切なので、小さなことから褒めてあげてほしい。褒められることで自尊感情が育まれ、自分が役に立つ人間だと育っていく。
- ・子育ては地道に努力して皆がつながることが大切なので、ワークショップの機会を通して個人レベルでの気軽なネットワークを組んでいってほしい。

## ◆ 北部圏域 ◆

- (1) 日 時：第1回 平成24年11月 2日(金) 午後2時～午後4時30分  
第2回 平成25年 2月 5日(火) 午後1時30分～午後4時  
(2) 会 場：大崎合同庁舎 会議室  
(3) 参加者：31名 《参集範囲：1市4町》  
(4) アドバイザー：越中 康治氏(宮城教育大学准教授)

### 第1回「親子間の愛着形成の促進について」

#### 現状と課題

- ・親子のかかわりの大切さが分らないでいる。・母親にゆとりがない。
- ・子育てを楽しむためのコミュニケーションや触れ合う時間、情報等が欠如している。
- ・親になる準備がないまま親になっている。

#### 解決策

- ・父母や祖父母の育児参加を呼びかける。
- ・小中高生から幼児と触れ合う機会をもたせる。参加型の研修会の実施。
- ・母親のリフレッシュする場の提供。育児サークルの展開。
- ・検診時に於ける情報提供や、親になる前の世代に対する教育の実施。

#### アドバイザーからの指導助言

- ・子どもを統制したり、親のきまぐれで関わったりすると基本的な生活習慣が上手に定着せず、子どもの心を損なってしまうケースが多い。
- ・親も子どもよくなりたいたいという思いがあるので、指示するのではなく、親も子どもと同じように寄り添うサポートから始めることが大切。



### 第2回「基本的な生活習慣の確立について」

#### 現状と課題

- ・親の生活スタイルに子どもが合わせる形となっていることが多い。
- ・夜遅くに家族そろって外食をしている状況がある。何を優先していくかを考えていく。

#### 解決策

- ・より良い方法やそのよさについて強調するように、著名な方の講演会の開催が効果的。保育参観後の実施がよい。
- ・親の食生活改善も必要。検診の時などに子どもだけではなく、親にも指導していく。

#### アドバイザーからの指導助言

- ・どうしたら親が気持ちよく、やりやすく子育てができるかという視点で話し合いが行われ、ここを直してみようかという自分でできる取組が出されたことがよかった。

## ◆ 大河原圏域 ◆

- (1) 日 時：平成25年 2月 12日(火) 午後1時30分～午後3時30分 (1回の開催)  
(2) 会 場：大河原合同庁舎 大会議室  
(3) 参加者：69名 《参集範囲：2市7町》  
(4) アドバイザー：佐々木とし子氏(宮城県地域活動連絡協議会長)

### 第1回「基本的な生活習慣の確立について」

#### 現状と課題

- ・朝食の欠食が多い。朝ご飯をバランスよく食べていない。子どもに偏食があるが、親も偏食。
- ・ゲームに夢中で外遊びをしていない。親もゲームに夢中である。
- ・ライフスタイルの変化から、親の帰宅時間が遅く、家族全体で寝る時刻が遅くなっている。

#### 解決策

- ・親教育の場が必要。朝ご飯については、まず食べさせることが大切で簡単な朝食作りの例を示す。
- ・大河原町では「ノーテレビ・ノーゲームデー」を週1回設けるようにしている。

#### アドバイザーからの指導助言

- ・「早寝・早起き・朝ごはん」の取組で欠席が減り、肥満傾向が低くなって虫歯が減り、学力も向上したという事例がある。県では教育部門と保健福祉部門が一体となって幼児教育の充実を推進しているので各市町村におかれても推進してほしい。